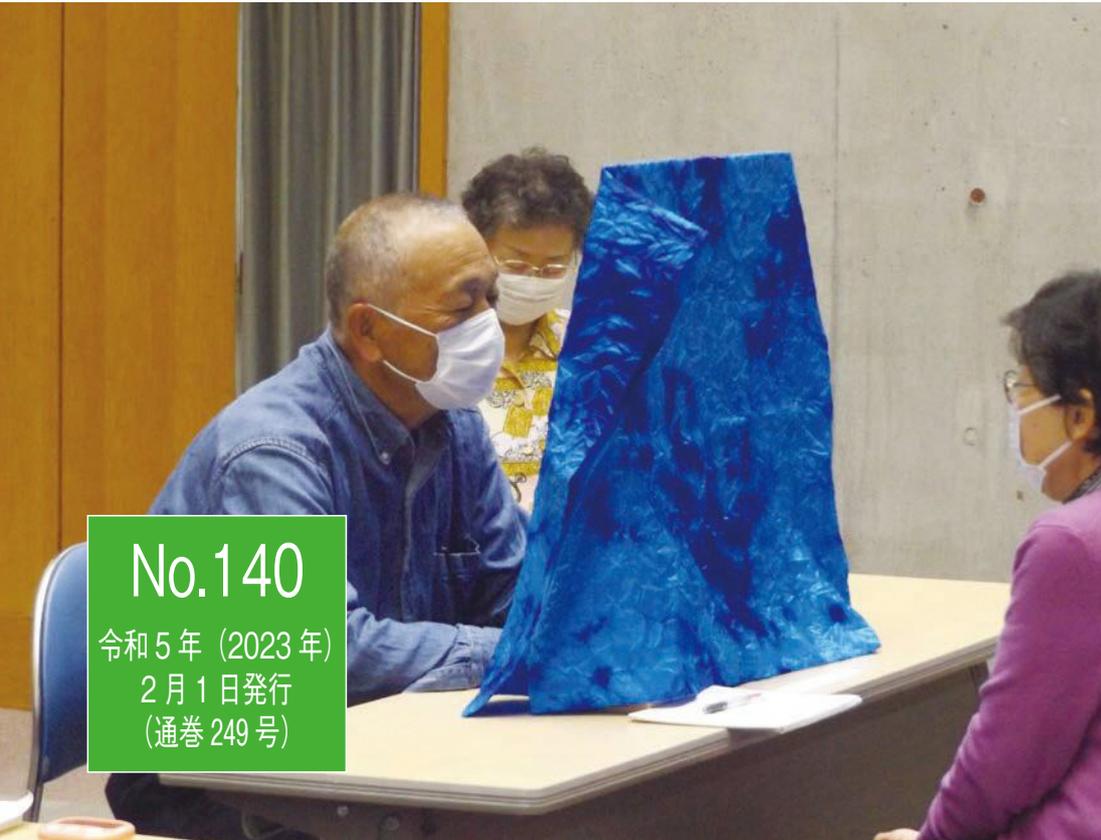


# びがかいのトビ ラ



【特集】市民インタビュー  
心を傾け受けとめて聴く  
一期一会の想いで相手の気持ちに寄り添って  
羽村市傾聴ボランティア・糸でんわ

P2

- 審議した主な議案
  - 市長提出議案 P4
  - 議員提出議案 P5
- 議案の議決結果 P6
- 市政について問う  
《一般質問》 P8
- 議会活動報告 P17
- 市議会からのお知らせ P17
- 令和4年度常任委員会  
視察報告 P18

No.140

令和5年(2023年)  
2月1日発行  
(通巻249号)

# 心

## を傾け受けとめて聴く

一期一会の想いで相手の気持ちに寄り添って

羽村市傾聴ボランティア・糸でんわ

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢います。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思えます。今回は厚生委員会が担当しました。

【表紙の写真】(令和4年11月撮影)  
福祉センターでの活動の様子  
上：電話傾聴 下：定例会でのロールプレイ

※写真撮影時のみ、マスクをはずしています。



▲会員が作成した事例をもとに、話し手、聞き手、観察者に分かれてロールプレイを行い、スキルアップを図っています。



▲コロナ禍前は施設での傾聴活動も行っていました。

「糸でんわ」は、話を聴いてほしいと思っている人の気持ちに寄り添い、受け止め、お話を伺う、お話し相手ボランティアです。会員は「相手のお話を否定や反論せずに、ありのままをきちんと受け止めて聴く」という傾聴のトレーニングを積んでおられ、活動を始めて17年目になります。

### 設立のきっかけと

#### 具体的な活動は

松本 絹代さん(代表)



平成18年開催の第1回傾聴ボランティア養成講座に参加し、その

時の受講者5人で「糸でんわ」を立ち上げました。その年の11月から特別養護老人ホームむさしの園で傾聴活動を始めました。現在、15人程度が活動しています。

65歳以上の高齢者や、軽い認知症でお話し相手を求めている方に30分から1時間ほど傾聴を行って

います。以前は、特別養護老人ホーム、デイサービスなどの施設や

個人宅を訪問していましたが、現在は新型コロナウイルス感染症の影響で施設訪問は全て中止し、個人宅でのみ対面での傾聴活動を行っています。

### 参加の理由は

永田 眞喜子さん



自分自身、誰かに話を聞いてほしいと思っていた時に、傾聴ボランティア講習会を知りました。「聴

く」ことに惹かれ、参加しました。

雙木 桂子さん



仕事で相談業務をしており、相談ではない、「傾聴」として聴くとはどのようなことか興味があり、参加しました。

小林 里文さん



もともと福祉センターで活動をしている手話サークルに入っていました。話し方も学びたいと思っ

ていたところ、活動施設が同じ傾聴ボランティアを知りました。

藤原 正義さん



から参加しました。

市野 優子さん



保育園や幼稚園、子ども家庭支援センターで相談員をしており、カウンセリングや傾聴の勉強をしていました。仕事を辞めた後、この経験を生かしたいと思っていたところ、会を紹介されました。

### 活動を通して感じること

やりがいは

松本 言葉をうまく話せない方は歌と一緒に口ずさんでいます。相手の方の身振り手振りに気持ちに乗っているのを見ると、楽しくてくれていると感じられて、嬉しいです。

永田 相手の方が「話せてよかった、スッキリした」と言っていた

だいたいは嬉しいですが。自分では経験できない話を聴かせてもらえて勉強になることもありますよ。

小林 施設訪問では、皆さん、人恋しく、話したくて待っているのを感じます。帰るころには生き生きとしていて、自分が行くことで喜んでもらい、役に立っていると

思え、自分も元気づけられます。

市野 傾聴を通して人と人とのつながりを大事にしたいと思っています。相手の方の「また来てください、ありがとうございます」の一言が、一番嬉しいですね。

藤原 相手に寄り添って話を聴くことができ、お話し相手になっ

て良かったと思う時がありました。お互いに和やかになれたこと

もあり、参加してよかったと思っています。

松本 令和3年から特別養護老人ホームの方に電話傾聴を行っています。令和4年7月からは福祉センターの電話を利用し、個人への傾聴も始めました。対面と違い、相手の表情が分からず、気持ちに寄り添えているか不安です。傾聴

力・コミュニケーション力を高め

るため、月1回の定例会で会話のスキルを身につけるトレーニング（ロールプレイ）をしています。

永田 ロールプレイでは、話し手と聞き手の間にパネルを置き、相手の視線や表情が見えないようにして、ひたすら耳を傾けて聴く練習をしています。

市野 電話傾聴は相手の顔は見えませんが、話を聴くことで会話が広がり、通じ合っているように感じ、嬉しいですね。

松本 会員が高齢なので、若い方にも入会してほしいです。今年は5人新たに入会しました。これからはますます必要とされる活動だと思っていますので、長く続くことを願っています。

傾聴とは 今後の目標は

永田 傾聴は言葉通り、心を傾けて相手の話を聴き、否定せず、受け止めることです。カウンセラーではありません。例えば青いハンカチを相手の方が「白い」と言っても、「青ですよ」ではなく、「白に見えるんですね」と言って寄り添うことだと思います。

松本 会員が高齢なので、若い方にも入会してほしいです。今年は5人新たに入会しました。これからはますます必要とされる活動だと思っていますので、長く続くことを願っています。

## 羽村市傾聴ボランティア・糸でんわ

月に1回、定例学習会を行っています。

※活動場所 羽村市福祉センター(電話傾聴)／個人宅  
※コロナ禍前は特別養護老人ホームやデイサービスに訪問し活動。(現在休止中)

※会 員 30人

※連絡先 社会福祉協議会地域福祉係  
042-554-0304

## インタビューを終えて

『糸でんわ』は、「結んだ糸と糸を伝わって友達の声が聞こえる不思議さ、そして温かさ。そんな気持ちを大切にしながら、傾聴を通していろいろな人と触れ合っていきたいとの思い」から名付けられました。トレーニングを重ねながら、たくさんの糸をつないでいく活動に感銘を受けました。

\*\*\*\*\*  
お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

# 議案審議

■第5回臨時会（11月）では、市長から提出された補正予算案1件を可決しました。

■第6回定例会（12月）に市長から提出された議案は、条例に関する議案6件、補正予算案4件、その他議案5件、あわせて15件を可決・同意しました。

■議員提出議案は、意見書案1件を可決しました。

■審査した陳情1件は、不採択となりました。  
主な議案の概要は次のとおりです。



## 市長提出議案

■羽村市職員の定年を引き上げ  
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

### 【主な内容】

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴い、地方公務員の定年が段階的に65歳まで引き上げられることから、関係条例の規定を整備するものです。

【施行日】 公布の日および令和5年4月1日

【議決結果】 原案可決

■個人情報保護に関する法律の施行に伴い新たな条例を制定  
羽村市個人情報の保護に関する法律施行条例

### 【主な内容】

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、個人情報の保護に関する法律が改正され、同法により委任される事項等、必要な事項を整備するため、条例を制定するものです。

【施行日】 令和5年4月1日

## 【議決結果】 原案可決

### 質疑

**Q** これまでの羽村市個人情報保護条例では、高いレベルで個人情報を守られてきた。国の法律にルールが一元化され、新たな条例制定後もレベルは維持されるのか。

**A** 法の規定により、安全性は維持されるものであると考えている。

**Q** 法改正により、個人情報の定義が変わるが、死者に関する情報は保護されるのか。

**A** 遺族の個人情報に該当する場合であれば、個人情報として保護される。情報開示においても適正に保護される。

**Q** 国の法律であるが、自治体として独自に規定を設け、保護していくのか。

**A** 法律でルールが一元化されるため、条例で制定できることは限られている。基本的に独自の規定は設けず、法律に則り、適正な事務を行う。

## 討論

### 【反対】

市独自の強化策を盛り込むべきであり、個人情報の一部を匿名加工し、本人の同意なくビッグデータへの利活用が可能となる法律に則した本条例に反対。

(日本共産党)

### 【賛成】

データの利活用などの利点がある。必要がある場合には、地域特性を生かした要配慮個人情報等を制定し、個人情報を守ること

を求め、賛成。(令和かがやき)

### 【反対】

議決を必要としない規則で詳細を定め、審議会設置や本人収集の原則もなく、自治体独自の範囲が制限され、地方自治の本旨に反する法律に則した本条例に反対。

(市民ネットワーク)

### 【賛成】

デジタル化に対応した国際的な制度調和に向け、別々の運用であった個人情報の保護水準を全国一律化するために法律が改正された。それに伴う本条例の制定は当然であり、賛成。(新政会)

## ■市立公園等の管理運営を行う指定管理者を指定

### 羽村市立公園等の指定管理者の指定について

#### 【指定管理者の名称】

ウイングパーク(日産緑化株式会社 社多摩支店・株式会社大進緑建)

【指定の期間】 令和5年4月1日から令和9年3月31日まで(4年間)

【議決結果】 原案可決

## 質疑

**Q** 公園が適切に管理運営されているか、市はどのように点検していく予定なのか。

**A** 月ごとに事業報告を提出してもらうほか、市職員との会議を設け、要望やその対応などの情報が共有できるようにしていく。

**Q** 公園ボランティア制度はどうなっていくのか。

**A** 指定管理者制度の導入後も継続していく。柔軟な活動が期待されていくと考えている。

**Q** 公園内で発生する事案の責任の所在はどうなるのか。

**A** 損害賠償などの第一的な責任は指定管理者が有するものである。また、施設の修繕については、市と指定管理者と一緒に管理検討していく。

**Q** 指定管理者制度により、現状よりレベルダウンすることはないのか。

**A** 一番の目的は市民サービスの向上であり、より利用しやすいよう、共に努力していく。

**Q** 現在担当している職員はどうなるのか。

**A** 引き続き公園行政を行っていく。指定管理者制度を行うことで、職員の現場作業が軽減し、公園の在り方など、管理計画などに集中した業務となる。

## 議員提出議案

### 意見書を可決しました

带状疱疹ワクチンへの助成を求める意見書(抜粋)

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する水痘・带状疱疹ウイルスが再燃し発症するものである。

この带状疱疹の発症予防のためにはワクチンが有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。そこで、国に対して、一定の年齢以上の国民に対する带状疱疹ワクチンの有効性等を確認し、その助成制度の創設を強く求める。

### 【提出先】

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・厚生労働大臣・財務大臣

### 【議決結果】

原案可決

※内容は要約しています。詳細はインターネット録画中継(12月9日・12月21日分)をご覧ください。



指定管理者が管理運営していく市内公園のひとつ

■市長提出議案の議決結果

<第5回臨時会(11月)で全会一致となった議案>

件名・概要	議決結果
令和4年度羽村市一般会計補正予算(第5号) 歳入歳出それぞれ1億1,113万2千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ255億9,393万2千円とする。新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、子育て世帯を支援する観点から、小・中学校に通う児童生徒一人に対し2万円を支給するため、必要な経費等を計上する。	原案可決

<第6回定例会(12月)で全会一致となった議案>

件名・概要	議決結果	件名・概要	議決結果
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 →P 4	原案可決	令和4年度羽村市水道事業会計補正予算(第1号) 電気料金の値上げに伴い動力費と光熱水費を、また、資本的支出の建設改良費をそれぞれ増額する。	原案可決
羽村市議会議員及び羽村市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例 公職選挙法施行令の一部改正及び東京都議会議員及び東京都知事の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正に伴い、国政選挙等の選挙運動の公費負担限度額が引き上げられたことから、公職選挙法に基づき規定した条例の一部を改正する。		令和4年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算(第2号) 滞納整理支援システムを導入するため、歳入歳出それぞれ15万4千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ60億5,419万7千円とする。	
公益的法人等への羽村市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例 地方公務員法の一部を改正する法律の施行等に伴い、条例の一部を改正する。		羽村市農産物直売所の指定管理者の指定について 【指定管理者の名称】 羽村市農産物直売所運営委員会・西多摩農業協同組合 【指定の期間】 令和5年4月1日から令和9年3月31日まで	
羽村市都市計画税条例の一部を改正する条例 令和4年度に限り設定されていた税負担を軽減する特例措置が終了することに伴い、引き続き令和5年度の特例措置を設けるため、条例の一部を改正する。		羽村市弓道場の指定管理者の指定について 【指定管理者の名称】 特定非営利活動法人羽村市体育協会 【指定の期間】 令和5年4月1日から令和9年3月31日まで	
羽村市情報公開・個人情報保護審査会条例 改正個人情報保護法の施行に伴い、保有個人情報の開示決定等に関する審査請求については、諮問の根拠規定が同法へ変更されることから、審査会の設置規定等を整理することとし、審査会に関する必要な事項について整備するため、本条例を制定する。		羽村市立公園等の指定管理者の指定について →P 5	
令和4年度羽村市一般会計補正予算(第6号) 歳入歳出それぞれ1億8,944万3千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ257億8,337万5千円とする。電気・ガス・燃料費等の価格高騰に伴う、市内公共施設の光熱費等の増加に対応するため、必要な経費等を計上する。		旧自然休暇村解体工事請負契約について 旧自然休暇村解体工事を施工するため、請負契約を締結する。 【契約金額】 3億5,750万円 【契約の相手方】 株式会社前田産業東京支店 【契約の期間】 契約確定日の翌日から令和6年3月15日まで	
令和4年度羽村市一般会計補正予算(第7号) 歳入歳出それぞれ4,350万5千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ258億2,688万円とする。羽村市商工会が実施するキャッシュレス決済ポイント還元事業において、事業費が予定額を超過する見込みのため、必要額を増額する。		固定資産評価審査委員会委員の選任について 固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、秋山法氏を委員に選任したいので、議会の同意を求める。 【任期】 令和4年12月20日～令和7年12月19日	

<第6回定例会(12月)で賛否の分かれた議案>

件名・概要	会派名(数字は人数)								本会議での 議決結果
	緑 (4)	公 (4)	令 (3)	共 (2)	新 (2)	ネ (1)	世 (1)	自 (1)	
羽村市個人情報の保護に関する法律施行条例 → P 4	○	○	○	×	○	×	×	○	原案可決

■陳情の審議結果

件名	審査した 委員会	会派名(数字は人数)								本会議での 議決結果
		緑 (4)	公 (4)	令 (3)	共 (2)	新 (2)	ネ (1)	世 (1)	自 (1)	
羽村市議会会議規則に「請願の紹介議員の成立手続の根拠条文」を明記する改正を求める陳情	議会運営委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択

■議員提出議案の審議結果

件名	本会議での 議決結果
帯状疱疹ワクチンへの助成を求める意見書 → P 5	原案可決

凡  
例

■各会派の賛否■

議案/

○…賛成

×

陳情/

○…採択

×

■会 派 名■

緑…新緑会

公…公明党

令…令和かがやき

共…日本共産党

新…新政会

ネ…市民ネットワーク

世…世論

自…自由民主党創生

会 派 名 簿

新緑会

さくらざわ やすし  
櫻沢 康  
かじ まさあき  
梶 正明  
たかだ かずと  
高田 和登  
はまなか としお  
濱中 俊男

公明党

なかじま まさる  
中嶋 勝  
とみなが のりまさ  
富永 訓正  
にしかわ みさほ  
西川美佐保  
いし い ひさお  
石居 尚郎

令和かがやき

おおつか  
大塚あかね  
はせひら こうぞう  
馳平 耕三  
みずの よしひろ  
水野 義裕

日本共産党

はまなか じゅん  
浜中 順  
すずき たくや  
鈴木 拓也

新政会

あきやま よしのり  
秋山 義徳  
とみまつ たかし  
富松 崇

世 論

やまざき よういち  
山崎 陽一

市民ネットワーク

もんま ひでこ  
門間 淑子

自由民主党創生

いんなみ しゅうた  
印南 修太

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

# 一般質問

一般質問とは、議員が市の施策の状況などについて質問することです。

第6回定例会では、

12月6日、7日、8日の3日間にわたり

17人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。

※答弁内容は、12月時点のものです。



《Q》神明台2丁目に物流センターが進出した際の対策は

《A》警視庁と協議し、周辺道路の交通安全対策を図る



石居 尚郎 議員（公明党）

都市計画道路3・4・12号  
線沿いの整備について

**質問** 物流センターが神明台2丁目に進出した場合の近隣の交通安全対策は。

**市長** 警視庁との協議を踏まえ、周辺道路の交通安全対策を図っていく。

**質問** イオンタウンの建設計画の現状と今後の市の取り組みは。

**市長** 新たな事業計画の情報はなく、イオンタウン株式会社に対し、早期に土地活用を図るよう働きかけていく。

**質問** 川崎・羽東付近は通り抜けの車が生活道路まで入り、恒常的な朝夕の渋滞が続いている。問題解消の



神明台2丁目物流センター建設予定地

ため、羽村大橋拡幅工事を一日も早く着工するよう強く東京都に要請すべきでは。  
**市長** 東京都をはじめ、あきる野市、警視庁との連携協力と情報共有に努め、工事の早期着手に向け、積極的に対応していく。

子どもの幸せを

最優先する社会を

**質問** 国の出産・子育て応援交付金事業の伴走型相談支援など、今後、どのように進めていくのか。

**市長** 事業の開始時期やスケジュール等を東京都や多摩地域の各自治体とも情報交換の中で検討していく。  
**質問** 小学生の放課後対策の民営化に際し、業者選定と質の担保は。

**市長** 学童クラブの安定的な運営と質の向上を図ることは重要であり、事業者選定も含め、一部の施設で公設民営による運営を試行的に実施することを検討している。



《Q》シティプロモーション事業の目的・目標は

《A》住民福祉の増進、まちの持続的な発展を実現させること



富松 崇 議員（新国会）

羽村市のシティプロモーションについて

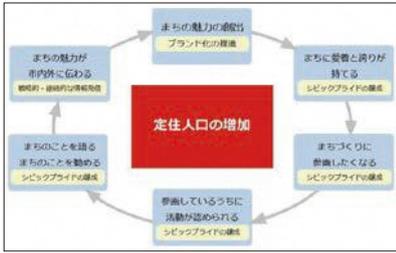
質問 事業の目的・目標は。

市長 20代・30代の共働き世帯をターゲットとし、転

出抑制と転入促進につながる取組みを行っている。定住人口の減少に対応していくことで住民福祉の増進を図り、まちの持続的な発展を実現させることを目的・目標としている。

質問 自治体の経済基盤を維持し、地域を活性化するために「地域ブランディング」を通して地域のイメージを向上させる「地域への人の往来を増やす」ことにも力を入れるべきでは。

市長 市内外を問わず、市



戦略的ジックモデル (羽村市シティプロモーション基本方針より)

民、団体、事業者と行政が、それぞれ主体的に取り組みとともに、連携することでシティプロモーションをさらに推進し、持続可能なまちづくりに取り組んでいく。

地域経済の活性化について

質問 これまで市内事業者の受注機会の創出について

訴えてきた。その後、市の方針に変更があったのか。

市長 羽村市指名競争入札

参加者指名基準を設けている。市が発注する建設工事等の指名競争入札に参加する事業者を指名する際に、市内事業者を優先して指名することができるとしており、変更はない。地域経済の活性化の観点から、市内事業者の受注機会の確保は大変重要であると考えている。今後関係法令を遵守し、競争性・公平性・透明性を担保しつつ契約事務を進めていく。



《Q》母子手帳のデジタル化に取り組むべきでは

《A》「子育て支援アプリ」の導入を検討していく



西川 美佐保 議員（公明党）

喫緊の課題であるデジタル化の推進について

質問 これまでも提案してきた「母子手帳のデジタル化」に取り組むべきでは。

市長 母子健康手帳に記載する内容をスマートフォン等で管理することができる「子育て支援アプリ」の導入を検討していく。

関係人口を増やす取組みと観光施策について

質問 これまで「軽便鉄道」の軌跡を残す施策を議会で提案してきた。関係人口を増やす例として、鉄道マニアや関心の高い人呼びかけて、市の歴史を興味深く残す方法などについて協力

いただいているかどうか。



電子母子手帳のイメージ

市長 地域の歴史や郷土羽村を学ぶ上で有用な素材である。鉄道ファンなど地域以外の方々にも興味を持っていただくことで、羽村の歴史に注目が集まることなども考えられる。今後、関係人口を増やす取組みの方法の一つとして、参考にしていく。

生活習慣病

「重症化予防」について

質問 血圧等を入力するだけで3年後の糖尿病発症リスクがパーセンテージで表示される「糖尿病リスク予測ツール」を国立国際医療研究センターが配信している。市公式サイトにリンクを張り付けては。

市長 将来的な見通しを確認できるツールの一つとして、有効であると考え、市公式サイト等で広く周知する。

■その他の質問 女性の「デジタル人材」の育成について



《Q》他施設への指定管理者の導入を検討しているか

《A》スポーツセンターへの導入の有効性を検討中



秋山 義徳 議員（新政会）

指定管理者制度の導入について

質問 市立公園・児童遊園に指定管理者制度を導入することで期待される効果は。

市長 市民ニーズに柔軟かつ迅速に対応することができ。また、民間事業者の豊富な経営ノウハウや創意工夫により、効果的かつ効率的な施設運営や、新たな事業展開が可能となり、施設の機能を最大限に発揮し、利用者の増加等が期待できる。ひいては、市民サービスの質のより一層の向上を図ることができる。

市長 制度導入後も町内会・自治会や高齢者クラブ、ボランティアの皆さまと共に、協働意識を持ち、地域に密着した管理運営を行うことが重要である。引き続き、地域住民の皆さまにご協力いただきたいと考えている。

質問 他施設への指定管理者の導入を検討しているか。

市長 スポーツセンターへの導入の有効性を検討している。

高齢者・障害者を災害から守る避難計画について

質問 避難行動要支援者個別避難計画の作成をどのように進めていくのか。

市長 要支援者のうち、計画作成の優先度の高い方は、現時点で約300人いる。令和5年1月から約30人分を作成し、令和5年度から令和7年度までの3年間で約270人分の作成を予定している。



指定管理者制度が導入される市立公園のひとつ(S&Dスポーツパーク富士見)



《Q》住まいを確保するため、居住支援協議会の設置を！

《A》市内関係団体の意向把握に努める



大塚 あかね 議員（令和かがやき）

住宅確保支援に対する羽村市の考えを伺う

所得の低い方、高齢者、ひとり親家庭など住まいの確保に苦労する人は多い。公営住宅の増加が見込めない現在、民間賃貸住宅を活用した住宅セーフティネット制度がスタートしている。

質問 住宅確保への取組みは。

市長 市営住宅の入居時に連帯保証人の確保を不要とする条例改正を行った。また、相談があった際は、民間賃貸住宅でセーフティネット制度に登録している住宅の情報を提供している。

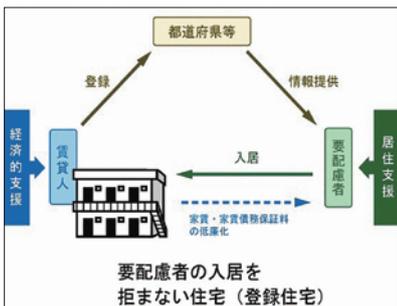
質問 住み慣れた地域に暮らし続けられるよう、「居住支援協議会」を立ち上げ

市長 容易に操作できる固定電話をご利用いただく。羽村市はいつ

パートナッシュップ制度を開始するのか

質問 西多摩初の制度開始を目指してはいかがか。

市長 令和5年度から導入できるように調整を進める。



セーフティネット住宅の仕組み (国土交通省公式ウェブサイトより)

※居住支援協議会：自治体、不動産関係団体、社会福祉法人が連携し、要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を支援する協議会



### 《Q》コミュニティ・スクールの検討状況は

《A》令和5年度に2校、令和6年度には全校で導入する



馳平 耕三 議員 (令和かがやき)



市内の学校

**コミュニティ・スクールの検討状況について伺う**

**質問** コミュニティ・スクールの検討状況とタイムテーブルは。

**教育長** 現在、令和5年度から導入を希望する2校が準備を進めており、そのほかの8校は令和6年度から導入することとなる。

**質問** すでに導入している自治体からは様々な報告があるが、メリット・デメリットをどう考えているか。  
**教育長** 「学校と地域が情報を共有できるようにした」「特色ある学校づくりが進んだ」などの報告がある。一方、「学校運営協議会で協議すべき課題が提出され

ないと定期的な報告が中心となり、効果が発揮できない」といった報告もある。

**質問** 各学校やコミュニティ(保護者・地域住民)側から導入を希望する具体的な要望はあったか。

**教育長** 学校側からは導入を検討したいとの声はあったが、地域や保護者からはなかった。

**質問** これまで、羽村市教育委員会は小中一貫教育や学期制の変更について、教育委員会主導で全校一斉に行ってきたが、学校やコミュニティの現状に応じて始めるべきと考えるがどうか。  
**教育長** 希望する2校からはじめ、令和6年度から全校で導入する。

■その他の質問  
Jアラート(全国瞬時警報システム)が発令されたら市民は何をすべきか/急増する孤独死にどう対応するか



### 《Q》市は売却後、どう活用されることを望むか

《A》まちに活力をもたらしていただくことが望ましい



堀 正明 議員 (新緑会)



売却に向けての手続きが行われている旧市営小作駅前駐車場用地

**旧市営小作駅前**

**駐車場用地について**

市公式サイトに一般競争入札による市有地の売却対象として掲載され、売却に向けた手続きが進んでいる。  
**質問** どんな建築物が可能で、最大何階まで建てられるか。

**市長** 都市計画法上、建築可能な建物用途には、住宅、店舗、事務所、ホテル、遊戯施設、公共施設、病院、学校、倉庫、床面積150平方メートル以下の工場などがある。建物階数については、様々な規制の範囲内で建築主の意向により設計や土地利用が図られるため、最大階数を示すことはでき

ない。

**質問** 市は売却後、どのように活用されることを望んでいるか。

**市長** 駅前という立地や商業系の用途地域などの特性を生かした高度利用により、まちに活力をもたらしていただくことが望ましい。

**質問** 売却に際し、歩道部も含めて売却することになっているが、売却後の歩道確保はされないのか。

**市長** 福生警察署との協議で当該箇所に必ずしも歩道を確保する必要はないとの見解を得ていることから、売却後に、改めて歩道を設置する考えはない。歩道に代わる安全対策として6メートルの幅員の中に区画線やグリーンラインなどの交通安全施設を設置し、歩行者の安全を確保していく。

■その他の質問  
高校生等医療費助成制度について



《Q》水上公園などに毎日プレーパーク場をつくってはどうか

《A》自由に遊びたくなる公共空間を創出していく



鈴木 拓也 議員（日本共産党）

毎日プレーパーク場をつくらう

プレーパークとは、どろんこ遊び、木登り、水遊びなどが自由にできる冒険遊び場のことである。プレーリーダーという大人が見守ることで、危険を回避しながら、のびのびと遊ぶことができる。

**質問** 「はむらプレーパークの会」が、多くの市民を集めて活動を続けている。どう評価しているか。

**市長** 会の活動は、子どもたちの自主性、創造力、冒険心などを育み、子どもたちの心身の健全育成につながっていると思っている。

**質問** 水上公園や、羽村駅



プレーパークの様子

西口区画整理地区内の市有地を活用して、「毎日プレーパーク場」をつくってはどうか。

**市長** 「毎日プレーパーク」を設置するのではなく、自由に遊びたくなる公共空間を創出していくことが大切だと考えており、そうした中で、「はむらプレーパークの会」などを支援していく。

生活保護はどうなっている？

**質問** 仕事をしている人、年金をもらっている人、住宅を持っている人でも、生活に困窮した時には、生活保護を受けることができるか。

**市長** 世帯の収入が基準額を下回っている場合には、支給することができる。

**質問** 「保護を受けるのは申し訳ない」との意見について、どう考えるか。

**市長** お困りの際には、遠慮なくご相談いただきたい。



《Q》女性にAEDを使うことをためらわないよう啓発しては

《A》今後、配慮の方法を市公式サイトで周知する



高田 和登 議員（新緑会）

救命活動について

**質問** AEDの設置場所は市公式サイトによると125か所あり、防災マップはむらやスマートフォンで確認できる。設置場所をもっと増やす考えはないか。

**市長** 必要性などを精査し、公共施設等へのAEDの設置を進めていく。

**質問** 「全国AEDマップ」に羽村市役所は掲載されていない。データを更新すべきでは。

**市長** 改めて更新の届け出を行った。

**質問** 以前、AEDのコンビニへの設置について提案したが、コンビニとの包括協定の状況は。

**市長** 新型コロナウイルス感染症のため、協議が中断



女性へのAED使用啓発ポスター（多摩府中保健所の公式サイトより）

しているが、再開できるように働きかけていく。

**質問** 徳島県石井町では公共施設内のAEDを屋外に移設した。市でも検討しては。

**市長** 有効性、破損や盗難などのリスクを施設ごとに判断し検討する。

**質問** 東京都大田区は、費用がかかるAEDの屋外設置を行っている事業所に補助をしている。市でも検討しては。

**市長** 情報を収集し、調査・研究する。

**質問** 町内会連合会が2005年から実施している普通救命技能講習修了者の数は。

**市長** 1011人である。

**質問** 多摩府中保健所が「女性にAEDを使うのをためらわないで!!」と啓発をしている。市でも同様の啓発をしてはどうか。

**市長** 今後、配慮の方法を市公式サイト上で周知する。

■その他の質問  
小・中学校のテストについて



### 《Q》小学校体育館のエアコン設置をどう考えているか？

### 《A》夏場の教育環境保持、災害時の使用を考え、検討する



浜中 順 議員（日本共産党）



市内小学校の体育館

#### どの子も生き生きと

#### 伸びる教育を 第3弾

**質問** 小学校の体育館へのエアコン設置をどのように考えているのか。

**教育長** 夏季休業期間中の利用頻度が中学校と比べ低いため、現在のところ設置していない。しかし、近年の夏場の異常な気温上昇による教育環境への影響や災害時の避難所としての使用を踏まえ、エアコン設置について検討していく。

#### 横田基地に起因する

#### 危険・騒音を取り除こう

8月にCV-22オスプレイはクラッチ不具合により飛行停止となった。原因が解明されないまま9月には

飛行が再開された。軍事訓練の強化の中で、大惨事の回避と平穏な生活を確保することが市民の強い願いである。

**質問** 市公式サイトによる飛行再開の説明では市民は理解しがたいと思われる。「不具合の原因が不明なままでの危険な飛行はさせない」という強い意志で積極的な働きかけが必要と考えるが、どのような働きかけが行われているのか。

**市長** 機体の安全性や運用に関する基地周辺住民の不安が解消されるよう、安全確保の徹底はもとより、十分な説明責任を果たすことを、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会を通じて米軍及び国に対し文書要請した。連絡協議会が米軍と国に対し毎年行っている総合要請にも、今年度は地上待機措置及び解除に関する説明責任について盛り込もうよう調整している。



### 《Q》40メートルの道路幅は住民が望んだものか

### 《A》市が道路法や道路構造令に合致する計画とした



門間 淑子 議員（市民ネットワーク）



羽村大橋に接続させる道路予定地

#### 羽村駅西口土地区画整理事業は抜本的に見直しを

**質問** 羽村駅西口駅前は通勤・通学者の安全のために、区画整理と切り離し優先整備をしてはどうか。

**市長** 羽村駅西口土地区画整理事業に関する検証会議からの提言を参考に、国や東京都との協議を含め、市として十分な検討を行い、事業の最適な進め方を導き出していく。

**質問** 40メートルの道路幅は住民が望んだものか。

**市長** 都市計画道路3・4・12号線の幅員は、川崎地区の生活道路への通過車両抑制、羽村大橋東詰の渋滞緩和、快適な歩行空間確保を

目的に、市が現行の道路法や道路構造令に合致する計画とした。

**質問** 昭島市は地権者・住民の意見を聞き、一部のエリアは区画整理事業を見直すの方針だが、羽村市もエリアごとに地権者・住民の意見を聞いてはどうか。

**市長** 今後の事業の最適な進め方を導き出していく過程で、その時期や具体的な手法等について検討していく。

#### 男女共同参画推進条例は男女平等条例に改正を

**質問** 男女共同参画は男女平等を実現するための具体的手法と考える。男女平等条例に改正してはどうか。

**市長** 男女平等は基本理念、男女共同参画は行動指針であることを定義し、条例制定となった。この条例を大切に、積極的に男女共同参画社会の形成の促進に取り組んでいく。



《Q》老朽化した市道全てを再舗装する費用はどのくらいか

《A》約87億円と試算される



公共施設等の管理について

**質問** 建築から60年を迎える市内の小・中学校は、建替えなども検討しなければならぬと考えるが。

**市長** 施設を適切に維持・保全していくため、耐用年数の60年を迎えるタイミングで耐力度及び劣化度調査を実施した上で長寿命化改修に着手していく計画である。現時点では、建替えについて具体的な検討は行っていない。



舗装状況が劣化している市道

**質問** 市道が老朽化しているが、全てを再舗装するためには、どのくらいの費用が必要か。

**市長** 一概に算出することは難しいが、市道の舗装面積は、102万4104平方メートルあり、約87億円と試算される。

**質問** 公共施設等の管理にかかる費用と、羽村駅西口土地区画整理事業費用について優先度はどのように捉えているか。

**市長** どちらも市民生活やまちの発展にとって大切な事業であり、一概に優先順位をお答えすることはできない。

**職場体験について**

**質問** コロナ禍で職場体験の実施について、各校で対応が分かれたが、市として対応を統一することはできなかつたか。

**教育長** 職場体験をはじめ、学校行事は法令上、実施の可否を校長が判断している。今回の場合、各学校などの感染状況が異なっていたこともあり、市として対応を統一するには至っていない。



《Q》本のコンシェルジュの今後は

《A》日数の拡大や内容を充実させていく



令和版進取の気性によるまちづくり

公共施設の取組みのさらなる充実

**質問** プリモライブラリーはむらで始まった本のコンシェルジュの今後は。

**教育長** 本のコンシェルジュサービスは、図書館司書が推薦図書を選んで手渡しするサービスであり、主に子どもの読書活動を後押しする取組みである。小・中学校の午後の授業が比較的小ない水曜日に行っている。三つの図書館分室が終了となる来年1月以降は、日数を拡大し、内容を充実させ、市民の読書活動を一層支援していく。



読書活動を支援する取組みのひとつ(おはなし会)

**質問** 「SDGsアワード西多摩2022」で、スポーツ施設の広域利用の話題があったが羽村市の考えは。

**教育長** 令和3年3月に改訂された「西多摩地域広域行政圏協議会計画」に、公共施設の広域利用に向けた検討が盛り込まれたことから、今後、スポーツ施設の広域利用の検討がなされるものと考えている。市としても協議会の一員として、他市町村と共に検討していく。公共交通のさらなる充実

**質問** あきる野市のように、青梅線以西地区にデマンド型交通の実証運行をできないか。

**市長** 現段階ではコミュニケーションバスによる運航が適していると捉えている。利用者数の推移や、あきる野市の実証運行の結果などを参考に利点や実証実験の必要性等について調査・研究を進めていく。



### 《Q》献血事業のさらなる啓発計画は？

### 《A》若い世代向けに、市公式Twitter等を活用する



濱中 俊男 議員（新緑会）



献血キャンペーン(五ノ神会館)

#### 献血の促進に関して

**質問** 過去10年間の献血実績の推移は。

**市長** 10年前と比較し年間70人ほど減少しており、少子高齢化が原因と捉えている。

**質問** 市内の献血協力団体をどう把握しているか。

**市長** 2つの企業が協力している。「献血キャンペーン」では、東京羽村ライオンズクラブと町内会連合会にも協力いただいている。

**質問** 今後の啓発計画は。

**市長** 若い世代に協力いただけるよう、市公式Twitterなどを活用していく。

#### 消防署通り・

#### 問坂街道について

**質問** 交通量をどう捉えているか。

**市長** 朝夕の時間帯は、通過する車両などにより交通量が多くなっている。

**質問** 福生警察署とどのような協議を行っているか。

**市長** 連携協力し、標示の設置や現地確認などを行っている。意見交換する中で、交通安全の強化・充実に取り組んでいく。

#### 奥多摩街道の

#### 大型車規制について

**質問** 大型車の時間帯別などの通行規制はできないか。

**市長** 交通規制は、警視庁や東京都公安委員会が定めている。羽村市は、引き続き福生警察署と意見交換していく。

#### プリモホールゆとろぎ

#### 地下駐車場について

**質問** 障がい者用スペースにカラーコーンが置いてあるのはなぜか。

**市長** 障害のある方以外の駐車があるとの苦情があったため設置した。指摘を受け、すでに撤去した。



### 《Q》裁判の原告約100人が移転拒否ならどうなるか

### 《A》移転協議が難航すると事業継続は困難である



山崎 陽一 議員（世論）



羽村大橋から都道3・4・12号線JR踏切までの完了時期は未定

#### 区画整理撤回要求第62弾

**質問** 50ヘクタール未満の区画整理の在り方の決定権は自治体か。

**市長** 決定権は、市町村である。

**質問** 事業計画変更のプロセスは市長発議、権利者の意向、見直し検討、住民説明、都認可、議決と思うが。

**市長** 庁内の検討体制を整え、提言を参考に、最適な進め方を導き出していく。

**質問** 住民の声を聴くのは、不可欠ではないか。

**市長** 国や都との協議を含め、その時期や具体的な手法等について検討していく。

**質問** 裁判の原告約100人が移転を拒否したらどうなるか。

**市長** 移転協議が難航すると事業継続は困難である。

なるか。

**市長** 移転協議が難航すると事業継続は困難である。

**質問** 羽村大橋拡幅完了時期、3・4・12号線の掘削部、JR踏切アンダーパスの着工と完了はいつか。

**市長** 大橋拡幅は搬入路の確保に向けた協議中と聞いている。3・4・12号線は警視庁や都と協議中。JR踏切との立体交差は本事業とは別事業で答えられない。

**質問** 検証会議の論点は「狭い道路が多い」だが、この道路は法令違反か。市内の4メートル未満道路も区画整理で拡幅するのか。

**市長** 道路法や建築基準法に抵触しない。本事業地区以外の区画整理の計画はない。

**質問** 都の「地震に関する地域危険度測定調査」では、市内は安全地域だがどうか。

**市長** 調査結果では、建物倒壊・火災・総合危険度などで市全域が危険度の低い水準である。



《Q》これまでの英語教育の評価は

《A》英語教育に対する肯定的な態度が養われている



水野 義裕 議員（令和かがやき）



ALT（英語指導助手）との交流会の様子

英語（外国語）教育の今後  
と言語化能力について

**質問** これまでの英語教育の評価は。

**教育長** A・L・Tを活用した授業の工夫により、小学校の低学年から中学年にかけて英語の音声に慣れ親しませ、楽しく学びながらコミュニケーション能力の素地を養ってきた。高学年では、身近なことについて基本的な表現によって「聞く」と、「話す」ことに加え、積極的に「読む」こと、「書く」ことを含めたコミュニケーション能力の基礎を養ってきた。中学校では、身近な話題について理解したり表現したりするコミュニケーション

ションを図ることができるよう、指導してきた。成果は、東京都教育委員会の令和4年度の調査で現れている。「英語の授業の内容はどのくらい分かりますか」という問いに対して、中学3年生の肯定的な回答は、都の平均値と比べてプラス5.2ポイント、「英語の学習はどのくらい得意ですか」ではプラス6.8ポイントであった。

**質問** 今後の英語教育をどう進めていくか。

**教育長** 9年間の英語教育が目指すのは、英語によるコミュニケーション能力の育成である。これまでの取り組みを生かしつつ、「英語を用いて何ができるようにするか」という観点を重視しながら、互いの考えや気持ちを伝え合う学習活動を一層推進していく。

■その他の質問  
内部統制をどう進めるか／災害に備えて



《Q》都の害獣防除実施計画に参加し対策を進めるべき

《A》参加し、害獣被害予防の普及啓発と捕獲に取り組む



富永 訓正 議員（公明党）



アライグマとハクビシン  
(東京都の外来種対策マニュアルより抜粋)

害獣対策は進んでいるか

**質問** 「東京都アライグマ・ハクビシン防除実施計画」に参加し、対策をすべきでは。

**市長** 令和3年度は情報提供が10件、アライグマ1頭を捕獲。都の計画に参加し、害獣被害予防の普及啓発と、害獣の捕獲にも取り組んでいく。

**質問** 新型コロナウイルスと同時流行への備えは。

**市長** 平日夜間急患センターで有症状者に同時検査が可能なキットを活用し診断、投薬等を行っている。また、今年度、65歳以上の市民等を対象にインフルエンザ予防接種の無償化事業を実施している。

**質問** かかりつけ医等でのワクチン接種の状況と、その拡充は。

**市長** かかりつけ医による個別接種は羽村市医師会と調整し実施している。拡充は、状況を見極め調整する。

**道路の交通安全と騒音対策について**

交通事故が後を絶たず、また、動物公園通りの車両の騒音・振動に悩む声もある。

**質問** 危険な場所での横断者、ドライバー等双方への注意喚起を警察と連携し推進しては。

**市長** 歩行中の交通事故は令和3年は27件。意識啓発、注意喚起の方法など協議する。

**質問** 車両速度を落とせば騒音・振動は軽減する。速度指定の検討を警察と協議をしては。

**市長** 主要な道路の騒音や振動の調査では基準値内。現段階で見直しは難しい。



# 議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

## 令和4年11月1日～令和5年1月31日の主な活動

### 11月

- 2日 ■ 全国市議会議長会基地協議会第104回理事会
- 7日 ■ 令和4年第2回瑞穂斎場組合議会定例会  
■ 全国市議会議長会基地協議会関東部会総会(総会・視察・意見交換会)
- 8日 ■ 厚生委員会調査研究活動(羽村私立保育園協議会との懇談会)
- 9日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
- 10日 ■ 令和4年第2回西多摩衛生組合議会定例会  
■ 第12回議会運営委員会
- 11日 ■ 東京都市議会議長会正副会長会議  
■ 令和4年第3回青梅、羽村地区工業用水道企業団議会定例会  
■ 令和4年第3回羽村・瑞穂地区学校給食組合議会定例会
- 15日 ■ 厚生委員会市民インタビュー(羽村市傾聴ボランティア・糸でんわ)
- 16日 ■ 第5回羽村市議会臨時会  
■ 第4回羽村市多摩都市モノレール建設促進及び公共交通対策特別委員会  
■ 第8回議員全員協議会
- 21日 ■ 東京都市議会議長会理事会・定例総会
- 28日 ■ 第13回議会運営委員会  
■ 令和4年第2回福生病院企業団議会定例会

### 12月

- 6日 ■ 第14回議会運営委員会  
■ 第6回羽村市議会定例会(初日)

- 7日 ■ 第6回羽村市議会定例会(2日目)
- 8日 ■ 第6回羽村市議会定例会(3日目)
- 9日 ■ 第6回羽村市議会定例会(4日目)
- 13日 ■ 一般会計等予算審査特別委員会(補正予算)
- 14日 ■ 第5回経済委員会  
■ 第4回総務委員会
- 15日 ■ 第10回厚生委員会  
■ 第15回議会運営委員会
- 19日 ■ 第16回議会運営委員会
- 21日 ■ 第6回羽村市議会定例会(最終日)  
■ 第9回議員全員協議会
- 22日 ■ 第8回広報委員会

### 1月

- 11日 ■ 令和5年第1回広報委員会
- 16日 ■ 令和4年度議員研修会(「発達支援について」)  
■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
- 18日 ■ 令和4年度瑞穂斎場組合行政視察
- 19日 ■ 経済委員会市民インタビュー(羽村市商工会青年部)
- 23日 ■ 東京都三多摩地区消防運営協議会役員会・第2部会
- 24日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会正副委員長会議
- 30日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会
- 31日 ■ 東京都市議会議長会正副会長会議

## 市議会からのお知らせ

### 議場へ飲料水の持ち込みができるようになりました

令和3年12月に議長に提出した、第7次議会改革の答申を踏まえ、継続協議項目である「議場への飲料水などの持ち込みの許可」について、議会運営委員会で検討を重ねてきました。その結果、羽村市議会傍聴規則および羽村市議会委員会傍聴規則の一部を改正し、令和4年12月定例会から体調管理のため議場へ傍聴人が飲料水を持ち込むことを可能としました。※議員および市長、市職員等についても同様に可能としました。

令和4年度常任委員会視察報告

# 経済委員会視察報告

市議会議員は、先進的な取り組みや、特徴ある施策を行って事業効果をあげている自治体や団体に学び、羽村市が抱えるさまざまな課題などについて理解を深め、今後の行政運営に反映させるため、行政視察を行っています。コロナ禍を考慮したうえで令和4年度に実施した、経済委員会の視察の概要を報告します。

経済委員会

委員長 山崎陽一

副委員長 大塚あかね

委員 中嶋 勝、印南修太

秋山義徳、櫻沢 康

## 研究テーマ

都市計画及び都市基盤整備について

## 視察概要

実施日 10月4日

場所 昭島市土地区画整理事務所

視察事項 中神土地

区画整理事業について



▲区画整理地区内の現状の説明を受けました

羽村市は今年度、羽村駅西口土地区画整理事業に関する検証会議を設置し、今後の事業の最適な方向性を導き出すとしています。

市と同様の行政課題を抱える他市の取組みとして、「社会変化、事業長期化への懸念」から計画変更を進める中神土地区画整理事業について、その検討経過や事業区域の現状を視察しました。

## 大幅に見直した

## 中神土地区画整理事業

市長が調査会に諮問。駅前の  
みを整備し、他は別の手法で

中神駅北側地域を整備するこの事業は1964年から始まり第一工区は終了。現在は羽村駅西口と同規模の第二工区45ヘクタールを3ブロックに分けて進めている。見直しの始まりは2020年。50年以上経過した事業について、権利者への意向調査を実施。事業の見直しを求める意見が7割近くを占めた。市長は権利者等で構成される調査



▲集合住宅や店舗、駐車場が並ぶ整備済の中神駅北口

会に事業のあり方を諮問し、その答申に基づく見直し案により、東京都と調整を行った。

## 中神土地区画整理事業の経過



▲中神土地区画整理事業工区図(一部拡大)

- 1960年 都市計画決定
- 1976年 区域を3つに工区分割
- 1988年 第二工区を駅前、北、西に分割
- 1995～1999年 駅前ブロック仮換地指定
- 2003年 第18回事業計画変更。  
2023年度までの計画となる
- 2020年 長期化が避けられないために、地権者意向調査実施。  
7割近くが「事業見直し、別の手法」を求める
- 2020年 権利者(公募)14人、専門家2人の調査会へ「事業のあり方」を諮問。事業の見直しを答申
- 2022年 中神駅北側地域整備計画を住民説明のうえ、策定
- 2023年 事業計画変更(第二工区事業区域縮小・第三工区事業区域除外)認可(予定)、都市計画変更決定(予定)

第二工区のうち、駅前ブロックは整備を進め、未着手の北・西ブロック及び第三工区は道路や公園のみ整備する見直し内容とした。移転家は80%減少、事業費は40%減少するという。

### 住民の意向が、

### 都との度重なる調整の支え

「長期化する事業を早く終わらせてほしい」との権利者の意向を支えに、認可権者である東京都と度重なる調整を行い、事業の見直しを進めることができ

た。今後は、代替計画の「中神駅北側地域整備計画」に沿ってまちづくりを進めるといふ。区画整理事業で整備済の北口駅前には、すでに集合住宅や店舗、駐車場が並ぶ。

視察を通し、「約1000棟が



▲昭島市の担当の方から説明を受けました



▲交通量抑制のため、車止めで道路を狭める第三工区

移転」という羽村市の事業においても、見直し等を行う際には、住民意向を反映することが解決の糸口のひとつであることを実感した。

# しぎかいカレンダー

## ●3月定例会の予定●

日	月	火	水	木	金	土
				2/16	17	18
				陳情メ		
19	20	21	22	23	24	25
	議運					
26	27	28	3/1	2	3	4
		本会議	本会議	本会議		
5	6	7	8	9	10	11
	予特 (補正)	本会議		常任委	常任委	
12	13	14	15	16	17	18
		予特	予特	予特		
19	20	21	22	23	24	25
			議運		本会議	

- 陳情メ…請願・陳情の3月定例会審議予定分の締切
  - 議 運…議会運営委員会
  - 常任委…常任委員会（総務、経済、厚生）
  - 予特（補正）  
…一般会計等予算審査特別委員会（令和4年度補正予算）
  - 予特…一般会計等予算審査特別委員会（令和5年度予算）
- ※会議の予定は変更になる場合があります。  
詳細は議会事務局までお問合せください。

## 議会を見よう！知ろう！

### ～次の定例会は3月～

以下の方法で議会をご覧いただけます。

- 1 議場で傍聴 ライブで！**  
新型コロナウイルス感染防止対策により、傍聴者の健康を守る観点から、議場にお越しになる際は、マスクの着用や手指消毒などのご協力をお願いしています。咳や発熱などの症状がある場合は、傍聴を控えてください。傍聴の受付は、4階議会事務局で行っています。
- 2 ケーブルテレビで生中継**  
多摩ケーブルネットワーク(TCN)で、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。
- 3 インターネットで録画中継**  
開催日の3日後(土・日曜日、祝日を除く)から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- 4 会議録で読む**  
会議終了後2か月程度で会議録ができあがります。冊子または、羽村市公式サイトから見るることができます。

羽村市公式サイト

<https://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会

検索



## 編集後記

新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えない中、12月定例会でも、感染症対策を中心とした補正予算案を審議しました。

また、市内の公園の指定管理者を指定する議案の審議では、市民ボランティア活動との関わりをはじめ、多くの質疑が行われました。

令和5年4月からは、市民の皆さんが身近に利用している公園を指定管理者が効果的・効率的に管理運営していくこととなります。皆さんにとって、これまで以上に利用しやすく、快適な公園になる新たな取組みですので、お気づきの点について、ぜひ、お近くの議員に声を届けてください。

今後、議会だよりを通して、議会での審議の過程や様子をわかりやすくお伝えしていきます。

(浜中)

### 【広報委員会委員】

富松 崇(委員長)  
山崎 陽一(副委員長)  
櫻沢 康 浜中 順  
大塚 あかね 西川 美佐保  
石居 尚郎 濱中 俊男

発行/羽村市議会 編集/広報委員会

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042 (555) 0889  
Tel 042 (555) 1111 (内線412~414)



「ぎかいのトビラ」は、再生紙を使用しています。